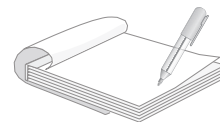


# 日本PTA・教育に関する保護者の意識調査

1 回答数	全国の小学5年生の保護者 (2,850人)、中学2年生の保護者 (2,654人) 岩手県の調査協力校は花巻市立花巻小学校 (40人) と花巻中学校 (33人)
2 集計	令和3年10月

## 調査結果 (一部抜粋)



### 1 学校教育について

【問1】子どもの学校の今年度の学校教育目標など、学校が取り組もうとしていることを知っていますか。

	元年度	3年度	差
知っている	55.8	51.0	▼ -4.8
知らない	43.4	48.3	△ +4.9

◆コロナ禍の影響で、行事の中止や Web 化による学校訪問・PTA 活動の減少が要因と考えられる。

【問2】子どもにどのような力を身につけさせたいですか。(上位項目)

	1	2	3
元年度	思考力 (89.6)	他人を思いやる力 (85.9)	判断力 (83.1)
3年度	〃 (89.3)	〃 (88.0)	基礎的な知識や技能 (82.6)

【問3】学力向上に向けた子どもの学校の取り組みに、どの程度満足していますか。

	元年度	3年度	差
(十分、まずまず) 満足している	59.3	61.5	△ +2.2
(あまり、全く) 満足していない	7.9	7.2	▼ -0.7

【問4】子どもの学力向上のために学校に求めたいことは何ですか。(前回と質問内容を変更)

①集中して学習に取り組むことができるクラスづくり (88.1)	②調査結果を踏まえたクラスに最適な指導の充実 (66.3)	③少人数教育の充実 (65.0)
---------------------------------	-------------------------------	------------------

◆「問2」の「基礎的な知識や技能」の割合は前回とほぼ同じだが、順位が1つ上がった。コロナ禍の影響で不安を感じていることの裏返しかもしれない。「問3」については、前回調査に引き続き「満足している」の割合が増加している点が注目される。

【問6】学校や教員に期待される役割と教員の多忙化についての考えは。

	元年度	3年度	差
周辺的な業務より授業や学習指導に集中してほしい	45.1	50.5	△ +5.4
保護者や地域がもっと学校を支援したほうがよい	17.8	19.8	△ +2.0
学習指導より生活指導や生徒指導に力を入れてほしい	10.4	12.8	△ +2.4
保護者や地域の期待に応じてすべての業務に対応してほしい	10.2	12.2	△ +2.0
学校や教員が忙しいとは思わない	1.9	1.9	±0.0

◆「授業や学習指導に集中してほしい」「保護者や地域がもっと学校を支援したほうがよい」の項目の割合が増加している。学校の働き方改革の理解が、ある程度進んでいると考えられる。

### 2 家庭と学校の関係について

【問9】学校に相談事があるとき、気軽に時間をとってもらえる雰囲気ですか。

	元年度	3年度	差
いつも気軽に相談できる	55.9	53.7	▼ -2.2
相談するのに気が引ける	11.9	11.5	▼ -0.4
やっと相談に乗ってもらえる	10.0	9.2	▼ -0.8
とても相談できる雰囲気がない	1.9	1.5	▼ -0.4

◆特に中学生の保護者で「いつも気軽に相談できる」割合が減少している。相談したいことがあっても、学校に出向くことができない現状がうかがえる。

【問 12】 仮にいじめなどの問題が起きた場合、子どもの通う学校は適切に対応してくれると思いますか。

	元年度	3 年度	差
十分な対応をしてくれる	16.1	17.9	△ +1.8
ある程度は対応してくれる	52.3	60.2	△ +7.9
全く対応してくれない	2.4	3.3	△ +0.9

◆前回の「少しだけに対応してくれると思う」の項目がなくなり、その分「ある程度は対応してくれる」が増えたようだ。小学校の教科担任制が進められたときにどう変化するかを見守っていく必要がある。

### 3 家庭教育について

【問 17】 しつけをしない・できない保護者が増えていると思うか。

	元年度	3 年度	差
(特に、やや) そう感じている	74.2	65.7	▼ -8.5
(さほど、全く) そう感じていない	24.7	33.7	△ +9.0

◆前回調査と大きな差がみられる項目である。各 PTA での話題になりうる問題ではないか。

【問 21】 子育ての悩みや不安を、どのようにして解決していきたいですか。(上位項目)

	元年度	3 年度	差
配偶者など家族に相談する	80.4	85.1	△ +4.7
友人や知人に相談する	66.1	63.5	▼ -2.6
学校の先生に相談する	47.2	48.4	△ +1.2
インターネットの情報を参考にする	29.8	35.1	△ +5.3

【問 23】 1 週間のうちで子どもと一緒に過ごす時間はどれくらいか。

	元年度	3 年度	差
0 ～ 10 時間	12.7	15.5	△ +2.8
11 ～ 30 時間	33.1	33.2	△ +0.1
31 ～ 50 時間	30.2	26.8	▼ -3.4
51 時間～	17.1	16.3	▼ -0.8

◆家族で過ごす時間が増えていることと、他者との交流が制限されている状況がうかがえる。

### 4 コロナ禍の影響

【問 25】 <with コロナ時代>子育てについて不安に思っていることは何か。(上位項目)

①イベント減少による経験不足	②健康被害(体力低下)	③家庭での学習のやり方
④学力の遅れや ICT 教育に地域格差が出る	⑤コミュニケーション能力低下	⑥特になし

【問 26】 <with コロナ時代>学校に期待することは何か。(上位項目)

①学力向上	②体力向上	③衛生管理	④少人数学級	⑤ ICT 教育の推進
-------	-------	-------	--------	-------------

【問 27】 <with コロナ時代>家庭で変化したことは何か。(上位項目)

①家庭内でのコミュニケーションが増えた	②特になし	③家庭内のネット環境を整えた
④塾や習い事に新たに通わせる、または回数を増やす	⑤家庭内でのコミュニケーションが減った	⑥自身(保護者)が習い事を始めた

◆「経験不足」は小中共通の不安。学校への期待で、「健康被害」については小学校保護者、「学力向上」については中学校保護者の割合が多い。高校進学が関わっているためであろう。家庭内の変化で、全体的には「コミュニケーション」が増えているようだ。

### 5 自由意見 (1,005 件のうち特に意見の多かった 5 項目)

1	PTA 活動についての意見	68 件
2	教員の質の向上、教員の置かれた環境改善などの意見	64 件
3	学校に対する意見・要望	63 件
4	教育方法に関する意見・要望	52 件
5	コロナ禍での学校行事の延期・中止についての意見	50 件

◆「コロナ関連」の意見・要望が多く寄せられた。「学校行事」以外に、「学習格差、学力・体力低下」(18 件)、「子供同士のコミュニケーション」(9 件)、「学習方法」(8 件)、「家庭での過ごし方」(5 件)、「コロナ差別」(4 件)についての意見があった。学校教育や家庭教育について、多様な角度から述べている意見が見られた。